

分 野	授 業 科 目	単 位 (時間)	進 度	担 当
専門基礎分野	看護と形態機能学	1 (1 5)	1 年後期	西山由美 実務経験あり
科 目 目 的	人体の構造と機能の知識を生活者としての人間にあてはめ、からだの構造と機能を使って日常生活を営んでいるかを学ぶ。			
科 目 目 標	日常生活行動に関連した人体のしくみと働きを理解する。			
単 元 名	教 育 内 容	時間	教育方法	留 意 点
1. 人体	1) 人体の構造のイメージ化 (臓器のペインティング)	2	演習	
2. 食べる～ トイレに行く	1) 食欲・食行動 2) 咀嚼・飲み込む (嚥下) 3) 消化と吸収 4) 排泄 (排便)	4		
3. 動く	1) 生活行動のメカニズム (1) 姿勢を保つ (2) 立つ、座る (3) 起き上がり、歩く (移動) (4) つまむ (5) 表情 2) 運動のメカニズム (1) 随意運動 (2) 不随意運動	4		
4. 話す・聞く 眠る	1) 話す・聞く：声を出す・聞く・言葉 2) 眠る：人はなぜ眠くなるのか・からだのリズム	2		
5. 清潔行動	1) お風呂に入る：垢を落とす・皮膚と付属器 皮膚と粘膜・温まる	2		
6. 試験		1		
テキスト／その他の教材	看護形態機能学 - 生活行動から見るからだ - (日本看護協会出版会) 楽しく学ぶ！看護につながる解剖生理 (照林社)			
評 価 方 法	筆記試験・レポート・成果物等から総合的に評価する。			